

生徒の皆さんへ

皆さん、元気に過ごしていますか。現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、臨時休校を余儀なくされ、学校に登校できない日々が続いています。本来であれば、今日終業式を迎えるはずでした。

そこで、明日から春休みを迎える皆さんにメッセージをお届けします。

「光陰矢の如し」ということばがありますが、1月8日の3学期の始業式に皆さんにあいさつをしてから、あっという間に今日の日を迎えたように感じています。

この「光陰矢の如し」ということばには、月日が過ぎるのは放たれた矢のように早いということと、放たれた矢は二度と戻ってこないということから、過ぎた時間は取り戻せないで時間を大切にしたいという意味があります。

さて、私は3学期の始業式で皆さんに、「この3学期を次の学年の0学期と位置づけ、自分の進路実現のための準備期間にしてほしい。」という話をしました。覚えていますか。皆さん、この3学期を振り返ってみて、自分の進路についてどれだけ真剣に考えたでしょうか。2年生、つまり、新3年生になる生徒の皆さんは、自分の希望する進路実現に向けて、もう待たない状況かと思えますし、1年生、つまり新2年生になる生徒の皆さんも4月からは進路別のクラス編成になり、進路について考える機会も増えるかと思えます。

皆さんにお願いしたいことは、それぞれが春休みを利用して、これまでを振り返り、希望する進路実現に向けて、さらに準備を進めてほしいということです。

私たちは、将来のことを思い描けずにいると、どうしても今やるべき事を先延ばしにしてしまいがちです。しかし、今、自分のすることは、将来の自分にそっくり跳ね返ってくることを忘れないでほしいと思います。あの時きつかったけど、努力して、頑張った本当によかった、と思える日がいつか必ず来るに違いありません。

私は皆さんには、「努力を惜しまず、そして、失敗を恐れず、若者らしいチャレンジ精神にあふれた高校生活を送ってほしい。」という話をしています。なぜ、そんなことを言うのかというと、「なりたい自分になる、行きたい学校に行けるよう努力する」これは、皆さんに課せられたミッションだと思うからです。

それぞれ残された高校生活は1年間あるいは2年間です。今後の皆さんの本校での「努力の差」は、来年または再来年の3月を迎えるとき、非常に大きな差となって現れるということを肝に銘じてほしいと思います。

最後になりますが、今のこの状況がどうなるか、まだまだ予断を許しませんが、この春休み、生徒の皆さんは、規則正しい生活を心がけること、運動不足とならないよう適度に身体を動かすこと、自宅においても咳エチケットや手洗い等の感染症対策を行うなど、注意して生活してください。生徒の皆さん一人ひとりが充実した時間を過ごすことを期待して、私からのメッセージとします。